

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成28年4月28日(2016.4.28)

【公開番号】特開2013-223718(P2013-223718A)

【公開日】平成25年10月31日(2013.10.31)

【年通号数】公開・登録公報2013-060

【出願番号】特願2013-48204(P2013-48204)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 5 Z

【手続補正書】

【提出日】平成28年3月9日(2016.3.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技球が入賞可能な始動入賞口と、図柄を表示する図柄表示手段と、遊技に係る動作を制御する制御手段とが設けられており、

前記制御手段は、遊技球の前記始動入賞口への入賞の検出にもとづいて、少なくとも前記図柄の確定表示態様と図柄変動時間とを決定するとともに、決定した前記図柄変動時間にわたり、前記図柄の変動表示態様である詳細変動パターンにしたがって前記図柄を変動表示させた後、前記図柄変動時間の経過に伴い、決定した前記確定表示態様で前記図柄を確定表示させる一方、

前記図柄の変動表示中に遊技球の前記始動入賞口への入賞を検出すると、前記図柄の確定表示態様と図柄変動時間との決定に係る情報を保留情報として所定数まで記憶するとともに、前記図柄を確定表示する毎に前記保留情報を順次消化するパチンコ機であって、

前記制御手段は、前記図柄として、通常図柄と、該通常図柄とは異なる特定図柄とを少なくとも記憶しているとともに、前記詳細変動パターンとして、前記通常図柄の詳細変動パターンである通常詳細変動パターンと、前記特定図柄の詳細変動パターンである特定詳細変動パターンとを少なくとも記憶しており、

さらに、遊技球の前記始動入賞口への入賞に起因して突入抽選を実行する突入抽選手段と、遊技球の前記始動入賞口への入賞に起因して継続抽選を実行する継続抽選手段とを備えており、

前記制御手段は、前記突入抽選に当選したことにもとづいて、前記通常図柄を前記通常詳細変動パターンにしたがって変動表示させる通常演出モードから、前記特定図柄を前記特定詳細変動パターンにしたがって変動表示させる特定演出モードへと切り替え、少なくとも前記突入抽選に当選した前記入賞に係る確定表示までは前記特定演出モードとする一方、

前記特定演出モードでの前記特定図柄の変動表示中に前記継続抽選を実行すると、前記継続抽選の結果についても前記保留情報として記憶し、前記特定演出モードのまま前記突入抽選に当選した前記入賞以降に記憶された前記保留情報を消化する際には、前記継続抽選の結果を確認して、前記継続抽選の結果が当選であると、当該保留情報の消化に係る前記図柄の変動表示に関しても前記特定演出モードでの変動表示を継続する一方、前記継続

抽選の結果が非当選であると、当該保留情報の消化に係る前記図柄の変動表示に関して前記通常演出モードでの変動表示に切り替えるとともに、

前記保留情報を記憶する際に前記継続抽選の結果が当選であると、当該保留情報よりも優先して消化される前記保留情報の前記継続抽選の結果を確認し、非当選の場合には当選に書き換えることを特徴とするパチンコ機。

【請求項 2】

前記制御手段は、前記通常演出モードでの前記通常図柄の変動表示中に前記突入抽選を実行し、その結果が当選であると、現時点から当該変動表示において前記通常図柄が確定表示となるまでの残余時間を確認し、前記残余時間が特定時間以上であると、前記通常演出モードでの前記通常図柄の変動表示中であるにもかかわらず、前記特定演出モードでの前記特定図柄の変動表示へと切り替えることを特徴とする請求項 1 に記載のパチンコ機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記目的を達成するために、本発明のうち請求項 1 に記載の発明は、遊技球が入賞可能な始動入賞口と、図柄を表示する図柄表示手段と、遊技に係る動作を制御する制御手段とが設けられており、前記制御手段は、遊技球の前記始動入賞口への入賞の検出にもとづいて、少なくとも前記図柄の確定表示態様と図柄変動時間とを決定するとともに、決定した前記図柄変動時間にわたり、前記図柄の変動表示態様である詳細変動パターンにしたがって前記図柄を変動表示させた後、前記図柄変動時間の経過に伴い、決定した前記確定表示態様で前記図柄を確定表示させる一方、前記図柄の変動表示中に遊技球の前記始動入賞口への入賞を検出すると、前記図柄の確定表示態様と図柄変動時間との決定に係る情報を保留情報として所定数まで記憶するとともに、前記図柄を確定表示する毎に前記保留情報を順次消化するパチンコ機であって、前記制御手段は、前記図柄として、通常図柄と、該通常図柄とは異なる特定図柄とを少なくとも記憶しているとともに、前記詳細変動パターンとして、前記通常図柄の詳細変動パターンである通常詳細変動パターンと、前記特定図柄の詳細変動パターンである特定詳細変動パターンとを少なくとも記憶しており、さらに、遊技球の前記始動入賞口への入賞に起因して突入抽選を実行する突入抽選手段と、遊技球の前記始動入賞口への入賞に起因して継続抽選を実行する継続抽選手段とを備えており、前記制御手段は、前記突入抽選に当選したことにもとづいて、前記通常図柄を前記通常詳細変動パターンにしたがって変動表示させる通常演出モードから、前記特定図柄を前記特定詳細変動パターンにしたがって変動表示させる特定演出モードへと切り替え、少なくとも前記突入抽選に当選した前記入賞に係る確定表示までは前記特定演出モードとする一方、前記特定演出モードでの前記特定図柄の変動表示中に前記継続抽選を実行すると、前記継続抽選の結果についても前記保留情報として記憶し、前記特定演出モードのまま前記突入抽選に当選した前記入賞以降に記憶された前記保留情報を消化する際には、前記継続抽選の結果を確認して、前記継続抽選の結果が当選であると、当該保留情報の消化に係る前記図柄の変動表示に関しても前記特定演出モードでの変動表示を継続する一方、前記継続抽選の結果が非当選であると、当該保留情報の消化に係る前記図柄の変動表示に関して前記通常演出モードでの変動表示に切り替えるとともに、前記保留情報を記憶する際に前記継続抽選の結果が当選であると、当該保留情報よりも優先して消化される前記保留情報の前記継続抽選の結果を確認し、非当選の場合には当選に書き換えることを特徴とする。

請求項 2 に記載の発明は、請求項 1 に記載の発明において、前記制御手段は、前記通常演出モードでの前記通常図柄の変動表示中に前記突入抽選を実行し、その結果が当選であると、現時点から当該変動表示において前記通常図柄が確定表示となるまでの残余時間を確認し、前記残余時間が特定時間以上であると、前記通常演出モードでの前記通常図柄の変動表示中であるにもかかわらず、前記特定演出モードでの前記特定図柄の変動表示へと

切り替えることを特徴とする。